



海星だより

第4号 令和2年 9月
広島県立大崎海星高等学校
<http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp>

新学期がはじまりました！(8/17)

短めの夏休みが終わり、大崎海星高校では8/17(月)から新学期がスタートしています！

少し肌が焼けた生徒の顔は一人一人がイキイキしていて、コロナの影響はありながらもそれぞれの夏休みを過ごせたようでした。

夏休み中は短い間でもしっかり勉強に取り組んでもらおうと、高校と公営塾が連携して受験生対象の補習や、1・2年生対象の学び直し講座を実施しました。公営塾ではスポーツ大会などのお楽しみイベントも実施し、充実した時間になったのではないのでしょうか。



3年生を対象にした共通テスト対策会

大崎海星高校管理棟が「公共建築賞」を受賞しました。

このたび、一般社団法人公共建築協会が選定する「公共建築賞 地域特別賞」のひとつに、大崎海星高校の管理棟が選ばれました。

地域の中で継承されてきた木造船の造船技術を持つ職人が建設に参加していることや、それを学校という場に活かすことでさらなる伝統技術の伝承を可能にしている点が評価されての受賞となりました。

造船で蓄積された技術がふんだんに用いられた管理棟は、陽当たりと開放感が抜群！玄関ホールに展示された権伝馬や卒業生が製作した作品と合わせて、大崎上島町の“モノづくり”の伝統を感じていただけるのではないのでしょうか。

受賞に先立ち、建築を担当した河本建設様より激励の言葉を頂きましたので一部をご紹介します。なお、全文は高校ホームページをご覧ください。



大崎海星高校 管理棟

(株)河本建設 河本兼和 専務

この建築は、この地の将来を担っていく子供たちの教育の場・器として、この島で育んできた文化や技術から生まれる建築となって欲しいというデザイナーの意向に共感し、多くの地元業者、地元大工と力を合わせる事が出来た事で、完成した建築であったと思っています。

玄関ブロックの木組みの繊細さは、大工達と共に悩み苦心の末、実現した力作です。また、視聴覚教室や展示ブロックの透かし梁は建設時に多くの工夫が必要でした。

海星高校魅力化プロジェクトの中で感じた多くの想い、その文脈の中で完成した建築空間を、生徒の皆さんが日常の中で経験し、感じ取り、大崎海星高校の生徒であることに誇りをもってもらえたら、この建物に携わった一人として、大変嬉しく思います。

「地域に開かれた学校」を目指す大崎海星高校を象徴する建物です。ご来校の際には、ぜひ建物にもご注目ください！

大崎上島町商工会と包括連携協定を結びました！(8/3)

8/3(月)に大崎上島町商工会と大崎海星高校の連携協定が結ばれました。昨年度から商工会青年部が中心となって、職業講話や高校生のインターンシップ受け入れなど、地域を通じた教育活動を行っており、これらの取組を強化・継続していくことが相互に確認されました。

商工会の方々には、大崎海星高校の柱である「島(地域)をフィールドにした教育」の実践に、これまでも多大なご協力をいただけてきました。



大久保校長(左)と小川商工会会長(右)

大崎上島町商工会青年部 元樋泰次郎 部長

コロナ禍によって、地域と子どもたちが断絶の危機にあると思っています。地域が持続していくために、ワークの面でもライフの面でも青年部としてできることには取り組んでいきたいです。今回の協定は、その1歩目であり、ゆくゆくは他の教育機関とも連携していきたいという構想を持っています。

今後も大崎上島学での職業講話や高校生のインターンシップ受け入れなどを通して、地域に根差した教育活動を続けていきます！

生徒会が発足しました！

生徒会3年生のメンバーが引退し、1・2年生を中心とした新生徒会が発足しました。新生徒会長と副会長の2人に、今後の抱負と9/12(土)の海星フェスティバルへの意気込みを語ってもらいました！

○生徒会長 大野尽さん

前会長の藤田先輩がコロナの影響でやりきれなかったことをゴールに流し込み、去年から問題提起されていたことを解決していきたいです。

海星フェスティバルは今までとは全く違う内容で全く予想が付きませんが、体育祭と文化祭という楽しい行事を2つかけ合わせて、さらに楽しいものを作れるのではないかと思います。

○副会長 北岡倫巳さん

学校で生活する一人ひとりが、持っている考えを発言しやすい雰囲気のある学校にします。

前生徒会が企画してくださった海星フェスティバル。先輩方に感謝し楽しみ、運営側としてできることを頑張ります！